

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	脳皮質の構築機構の解明
研究代表者	仲嶋 一範 (慶應義塾大学・医学部・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究はこれまでの研究代表者の研究に立脚したもので、Reelin タンパク質等による脳皮質の基本構造構築の仕組みの解明を目指している。本研究では、これまで理解されていなかった新しい神経細胞の配置制御機構、さらに脳回の形成機構を解析するとともに、脳細胞の多くをしめるアストロサイトの分散機構についても、その興味深い挙動に着目した解析を行うこととしている。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>大脳皮質形成において未解明の領域に焦点を当てた独創性の高い研究である。多くの予備データの蓄積があり、準備状況は良好である。また、研究代表者らのこれまでの研究実績等から本研究の推進に十分な能力が認められ、今後、皮質形成における神経とグリアの働きの統合的理解が進み、高い研究成果を得ることが期待される。</p>